

キャリアデザインセンター長 田中隆之教授に聞く

大学でのキャリア教育が重視されるようになって久しい。自分の個性や資質、価値観を知り、社会や職業の有り様とすり合わせて生き方を見つけて。働く道筋をはっきり決めて人生を設計する……キャリアデザインを描くことは、進路を決める際の第一歩となる。そのサポートを担うキャリアデザインセンターについて、4月にセンター長に就任した田中隆之の経済学部教授にお聞きした。



(たなか・たかゆき) 日本長期信用銀行調査部ニューヨーク市駐在、長銀総合研究所主任研究員、長銀証券投資戦略室長チーフエコノミストなどを経て専修大学経済学部教授。専門は財政金融政策、日本経済論。著書に『失われた十五年』と『金融政策』(日本経済新聞出版社、2008年)、『金融危機にどう立ち向かうか』(ちくま新書、09年)など。長野県千曲市出身。

キャリアデザインが大事なものはなせでしよう。高度な分業が行われている現代社会では、どのような職業に就くかで将来のライフスタイルが決まります。自分や家族の生活を支えながら社会的生産活動の一端を担うことになり。

人生の設計図を描く 進路を定める第一歩

何を担い、どのような生活をしていくか。学生時代のうちに仕事を意識し、キャリアデザインし始める必要があります。もちろん、学部での「学び」も大切。2本柱で取り組んでほしいと思います。キャリアについて考

経済学部では正課科目「学外特別研修」(インターンシップ)の担当教員として、その立ち上げにかかりました。インターンシップを体験する前後では、学生の目つきがガラリと変わります。社会の荒波を見るせいでしょ。また外に出ることで、自分にはこれが足りない、こういう勉強が必要だ、と感

さまざまなヒントやきっかけを提供するのがキャリアデザインセンターです。センターが展開する豊富な講座

大学に入ってすぐ「出口」を問われ、戸惑いもあるでしょう。しかし、「キャリアを考えるのは就職対策のためだけではありません。充実した学生生活を送るために、4年間で何を学び、どう過ごしたいか」を事前にインターンシップが

「ゴミ袋お配りしています。最後に回収しますので、よろしくお願ひします！」家族連れや若者でにぎわう夏祭りの会場で、法被姿の東福寺一司さん(経営1)が、出店一つ一つに声を掛けていた。生田キャンパス最寄りの民家園通り商店会であった夏祭りは、向ヶ丘遊園駅前約450坪が歩行者天国になり、約60の出店が軒を連ねる多摩区の夏の風物詩だ。東福寺さんは課題解決型インターンシップに参加し、出店管理を担当した。「暑くて大変でしたが、皆笑顔で楽しそうにしてくれて、苦勞して準備したかいがあった」と日焼けした顔をほころばせた。

夏祭りの大役果たす 民家園通り商店会で就業体験

同商店会の課題解決型インターンシップへの参加は初めて。若者の力で祭りを活性化しようと大学側に企画・運営の協力を依頼した。5月、このプログラムに集まった学生は7人。学部も学年も異なるが、祭を通して地域を盛り上げたいの思いは同じだ。打ち合わせはそれぞれの店が閉まった後から始まり、学業との両立に苦勞もあった。最初は気後れもあったが、徐々にベテラン店主の中で発言できるようになった。時間が足りず、新企画立案とまではいかなかったが、「出た意気は来年の祭りに生かしたい」とリーダーの小松和正さん(人間科3)は意欲をみせる。

岡本太郎美術館で実践

キャリア研究授業「新領域科目302」

課題解決型学習

キャリア研究を体的にキャリアデザインをテーマとする正課科目「新領域科目302」(西本万映子特任教授)が今年度は課題として

「川崎市岡本太郎美術館」の来場者年間10万人を集客プロジェクトを掲げ、今年度は課題として

「川崎市岡本太郎美術館」の来場者年間10万人を集客プロジェクトを掲げ、今年度は課題として

豊富なキャリア形成支援講座

キャリアデザインセンターでは、キャリア形成のためにさまざまな取り組みを行い、学生を支援している。

長期休暇中に企業



■就業体験型インターンシップ
地域の企業や団体、商店街が抱える課題に学生チームで取り組む。

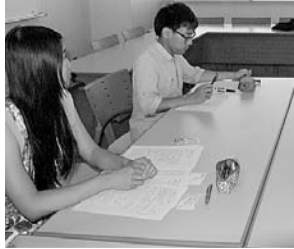
■ワークショップ関連
専大ベンチャービジネスコンテストや関連講座を実施するプログラム。



■専修リーダーシップ開発プログラム
職業を知ることや能力を開発することを目的としたテーマで開講。

■Webキャリアノーコンテスト・プレゼン大会
自己理解に役立つ適性検査・心理検査の実施、産業界で実務経験豊富なカウンセラーが学生からの相談を受けるキャリアカウンセリングもある。

■キャリア基礎セミナー
キャリアについての基礎的な知識を深める。後期は10、12月に実施。



■専修リーダーシップ開発プログラム
職業を知ることや能力を開発することを目的としたテーマで開講。後期は10、12月に実施。